

# 平取ダム定礎式について

室蘭開発建設部では、平取ダムの基礎が立ち上がったことを記念するとともに、ダムの本格的な築造に際し、礎石をそえてダムの永久堅固と安泰を地域の皆様とともに願う「定礎式」を平成29年7月30日（日）に開催しました。

平取ダムは、沙流川の洪水調節および流水の正常な機能の維持、水道用水の供給（平取町、日高町）を目的として、沙流川の支川額平川で建設を進めている多目的ダムであり、ダムの高さは56.5m、堤頂長350m、総貯水容量は4,580万m<sup>3</sup>で、ダム型式は重力式コンクリートダムとして建設を進めています。

工事の進捗状況としては、平成19年度に道道約3.8kmの付替工事に着工し、平成27年度には付替道道として全線供用を開始するとともに、残る町道芽生すずらん線については、現在鋭意工事を進めているところです。

ダム本体工事については、平成25年度より工事用道路の造成に着工。平成27年度よりコンクリート打設を開始し、現在鋭意工事を進めています。

当日は、主催者による式辞や工事報告を行ったのち、国会議員、北海道知事（代理：日高振興局長）、地元の平取町長、日高町長よりご祝辞を賜りました。

その後、礎石が搬入され、鎮定（ちんてい）の儀、斎鏝（いみごて）の儀、斎槌（いみつち）の儀が進められ、クレーンによりコンクリートが投入され埋納（まいのう）の儀が終了し、礎石が埋納されました。

最後に、平取ダム建設促進期成会会長による万歳三唱と合わせて、平取町長、日高町長、両町議会議長、地元自治会長による久寿玉開披が行われ、式典は無事終了しました。



平取ダム完成予想図



工事状況（平成29年7月）

昭和48年度	沙流川総合開発事業の実施計画調査に着手
昭和57年度	沙流川総合開発事業として建設事業に着手
平成9年度	二風谷ダム完成
平成19年度	平取ダム付替道路(道道芽生貫気別線)工事着工 (～平成22年度完成)
平成22年度	平取ダム付替道路(道道宿志別振内停車場線)工事着工 (～平成27年度完成、付替道道全線供用開始)
平成25年度	平取ダム工事用道路工事着工
平成26年度	平取ダム堤体建設工事の契約締結
平成27年度	ダム堤体コンクリート打設開始

# 平取ダム定礎式の実施状況

- 開催日時 平成29年7月30日(日) 10:30~11:30
- 開催場所 平取ダム堤体建設工事敷地内(北海道沙流郡平取町字芽生)
- 出席者 国会議員、北海道知事(代理:日高振興局長)、北海道議会議員、平取町長、日高町長、両町議会議員、地元関係者、国土交通大臣政務官、国土交通省本省、北海道開発局など(合計約150名)
- 次第 式辞、挨拶、工事報告、祝辞、定礎の儀、万歳三唱、久寿玉開披



室蘭開発建設部長による式辞

「定礎式を迎えることは大きな喜びとするところ。地域の皆様並びにご臨席の皆様のご長きに渡る事業へのご理解、ご協力、ご支援の賜物であり、心より感謝を申し上げます。  
一日も早い工事の完成に向け、鋭意努力を重ねてまいり所存であり、関係各位のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。」



国土交通大臣政務官による挨拶

「地域のご理解と長きにわたるご協力に心から感謝を申し上げます。全国各地で洪水被害が発生しており、北海道においても昨年8月の記録的大雨による甚大な被害は記憶に新しいところ。  
本事業の完成が流域の発展に大いに貢献するものとする。このダムが地域の礎として未永く愛されることを祈念する。」



平取町長による祝辞

「関係者の皆様のご多大なるご尽力、ご協力に感謝。ダムの完成により流域住民の生命と財産、社会資本や後世に引き継ぐ豊かな自然を洪水から守り、さらにダム周辺の整備、活用により交流人口の増加やアイヌ文化の振興に繋がると考えている。  
引き続き関係各位のご指導、ご協力をお願い申し上げます。」



日高町長による祝辞

「下流に市街地を有する町として、一貫して、住民の安全を一刻も早く担保するには平取ダムの建設に勝るものは無いと力説し続けてきた。  
本日の定礎式は非常に感慨深いものがあり、喜びもひとしおである。多くの皆様のご支援に改めて感謝の気持ちを述べさせていただきます。」



礎石搬入

日高町木遣り保存会による木遣り歌に合わせ、礎石を搬入します。



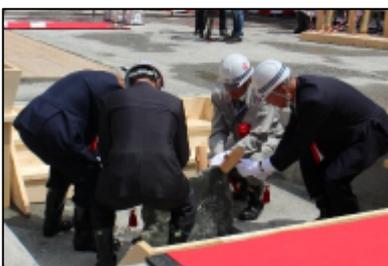
鎮定(ちんてい)の儀

礎石を固めるため、コンクリート材料を礎石の周りに入れます。これからの工事に筋道をつける意味があります。



齋鏝(いみごて)の儀

鎮定の儀により礎石の周りに入れられたコンクリート材料を鏝でならします。鎮定の儀でつけられた道筋をならす意味があります。



齋槌(いみつち)の儀

槌を用いて礎石をしっかりと納めます。齋鏝の儀でならされた道筋をさらに強固なものにする意味があります。



埋納(まいのう)の儀

クレーンで搬入したコンクリートを礎石の上に投入し、礎石と堤体を一体となるよう埋め込みます。



平取町長、日高町長、両町の議会議員、地元自治会長による久寿玉開披